

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会	28,29,30,47,51,52,58,59	周産期医療研修会 目的・内容:周産期における医療、看護の基本、最新情報を講義、見学実習を通して習得する 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師 開催数(配布数):3回 効果:産科、新生児科の医師、または看護師が共に学習し討議する中で、周産期関係者全体の資質を向上させた。	2,17,18,19,28,35,36	周産期における倫理を考える 目的・内容:周産期医療の現場から発せられる倫理的問題を共に考える 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師ほか50名 開催(配布)予定数:1回
	17,18,19,22,24,28,29,30,31,35,36,38,51,52,54,55,56,66	▼母親学級等の開催 ・母親学級(妊産婦指導、妊産婦 1,323人、2回×24コース) ・母と子のふれあい講座(2歳児と母親(1回は父親)のための講座、2歳児とその親29組、9回×3コース) ・夫立ち合いのための出産準備クラス(夫が出産に立ち合う夫婦のための準備講座、当院出産予定者と夫750組、2回×30コース) ・うさぎの会(超低出生体重児のための早期介入プログラム、対象児(2~3歳児)と家族105組、12回) ・ビーンズの会(出生体重1000g未満児の同窓会、当院誕生の対象児と家族、年1回) ・タッチケアクラス(産後の母親・家族支援、乳児と親・祖父母372組、36回) ・マタニティービクス(産前エアロビクス教室、妊婦 1,551人、190回) ・マタニティストretch&ヨガ(産前のストレッチ・ヨガ教室、妊婦 2,410人、191回) ・アフタービクス(出産後のエアロビクス教室、褥婦 3,044人、283回) ▼母乳相談 目的・内容:母乳に関する相談・マッサージ、対象者及び対象者数:1,229人 ▼妊婦健康相談(助産師外来) 目的・内容:助産師による健診、相談、対象者及び対象者数:当院出産予定者 2,205件 ▼プレネイタルビジット 目的・内容:出産前小児保健指導事業、対象者及び対象者数:当院出産予定者 9人 ▼周産期医療施設のオープン化モデル事業 目的・内容:産婦人科の地域医療機関との連携(オープンシステムまたはセミオープンシステム) ▼医師卒後臨床研修医受け入れ 対象者及び対象者数:2名 ▼新人助産師臨床実践能力向上推進事業 目的・内容:新人助産師に対する研修、対象者及び対象者数:当院新人助産師	17,18,22,25,26,27,29,33	多胎児の育児支援 目的・内容:多胎児の妊娠中から出産・育児まで、継続的なサポートのあり方 対象者及び対象者数:保健師・助産師・看護師ほか80名 開催(配布)予定数:1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
		日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容:子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行った。 対象者及び対象者数:行政機関、大学・短大等教育機関、研究機関、関係団体等 開催数(配布数):研究紀要第44集としてまとめ、2,000部配布した。		日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容:子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行う。 対象者及び対象者数:政府機関、地方自治体、児童相談所、保健所、研究・教育機関他
		情報提供 目的・内容:子ども家庭福祉に関する各種情報の提供(ウェブサイト「愛育ねっと」による情報提供を含む)、「母子保健情報」の発行(第55号:子どもの心Ⅱ、第56号:食育) ※日本子ども家庭総合研究所図書館で所蔵する子ども家庭福祉、母子保健領域の図書資料の閲覧 対象者及び対象者数:子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母子保健関係の機関、研究者等希望者 開催数(配布数):各号2,000部配布した。来室者318名、文献複写受付210名(1,114件)  目的・内容:「日本子ども資料年鑑2008」の編集 対象者及び対象者数:母子保健・福祉、教育等に従事する人ほか		情報提供 目的・内容: ・子ども家庭福祉に関する各種情報の提供(ウェブサイト「愛育ねっと」による情報提供を含む)、対象＝子ども家庭福祉関係の機関、研究者等 ・「母子保健情報」の発行(第57号:母と子のアレルギー、第58号:妊産婦健診・乳幼児健診)、対象＝母子保健関係の機関、研究者等 ・日本子ども家庭総合研究所図書館で所蔵する子ども家庭福祉、母子保健領域の図書資料の閲覧、対象＝希望者
				情報提供 目的・内容:「日本子ども資料年鑑2009」の編集 対象者及び対象者数:母子保健・福祉、教育等に従事する人ほか

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
全国助産師教育協議会	18,24 「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育の検討	第43回全国助産師教育協議会総会・講演会(2007. 6.1～6.2) 目的・内容:1)助産師教育のコア内容におけるミニマム・リクワイメンツとして、妊娠期・分娩期の教育内容と例示について報告した。 2)講演会:将来の助産評価と助産師の変革に向けて以下の3氏の講演を行った。 1 日本病院評価機構 内田郷子氏より、「病院機能評価『看護分野』の評価の実際と今後に向けて」 2ニュージーランド助産師会会長 カレンジリランド氏より「ニュージーランドの助産師活動とその変革の経緯」 3オタゴ・ポリテクニク助産学部長サリーパーマン氏より「ニュージーランドの助産師教育の実際と機構評価」 会場:首都大学東京健康福祉学部 対象者:全国の助産師教育関係者 参加者:会員校102校 1日目:169名 2日目:177名 開催数(配布数):1回 効果:1)助産師教育のコアとして、妊娠期・分娩期に関する具体的な教育内容について理解し活用できる。 2)ニュージーランドの助産師活動や助産師教育と評価について知見を深め、わが国における将来の助産評価と助産師の変革に向けて、検討していく方向性を見出すことができる。	18, 24 助産師教育内容の検討	・総会の開催:委員会活動報告 2008. 5.23.24(「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育内容の検討、1回) ・第34回全国助産師教育協議会研修会 日程未定(目的:テーマ未定、内容:特別講演、シンポジウム、1回) ・NEWS LETTERの発行(No.59～62)(関連記事の掲載、4回発行 配布数:1000部) 対象者及び対象者数:全国助産師教育関係者 機関会員数 103校 個人会員数 288名

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18.24 「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育の検討	2. 第33回 全国助産師教育協議会研修会(2008.2. 22~23) 目的・内容:1)目的:社会の多様なニーズに応えられる助産実践力の強化を図るべく講演・シンポジウムを開催した。 1 九州大学大学院教授平田伸子氏による「助産師教育の現状と課題」 2 天使大学学長近藤潤子氏による「今、臨床助産師に求められるもの」 3 金沢大学大学院教授島田啓子氏による「助産学実習指導方法の基本:分娩器指導ミニマム・リクワイアメントの例示」 4 シンポジウム:「助産診断の効果的展開」分娩期の助産診断・技術指導—根拠に基づいた実践より 5 川口助産院院長川口芳子氏による「技の伝承:熟練助産師の分娩介助術」 2)目的:安心して子どもを産める社会をめざして教育講演、特別講演を開催した。 1九州大学病院周産期センター講師月森清己氏による「助産診断に活かす周産期医学最前線(産科救急)」 2日本赤十字九州国際看護大学教授吉永宗義氏による「助産診断に活かす周産期医学最前線(新生児医学)—助産師のための出生直後の新生児評価—」 3国際医療福祉大学学長 谷修一氏による「安心して子どもを産める社会をめざして—医療の現状と医療政策の課題—」 会場:九州大学医学部百年講堂大ホール 対象者:全国の助産師教育関係者 一般 参加者:275名 開催数(配布数):1回 効果:助産実践力の向上をめざした分娩期の助産診断・技術の基本と応用などについて学ぶ機会となり、時代のニーズに対応できる助産師の育成に繋がる。また、教育現場だけでなく実践現場の助産師の継続教育としても有意義な学びの機会となる。		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18,24 「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育の検討	全国助産師教育協議会NEWS LETTER 目的・内容: No.55(2007. 5.25)日本の助産師教育の課題(東京医科歯科大学大学院 松岡恵) 他 No.56(2007. 8.25)社会のニーズに応えられる助産師教育を目指して(日本赤十字看護大学 平澤美恵子) 他 No.57(2007. 11.25)助産師教育の革新に求められるもの(名古屋市立大学 北川真理子)他 No.58(2008. 2.25)新しい命の輝きは国境を越えて世界共通(大阪大学大学院 中村安秀) 他 対象者及び対象者数:全国の助産師教育関係者 開催数(配布数):NEWS LETTER年4回発行、発行部数1000部 効果:大学院・大学・専門学校・専修学校における助産師教育の現状と課題、助産師教育カリキュラムの改正内容の紹介、妊娠・出産環境等に関する新聞記事の紹介、ニュージーランドやイギリス、中央アフリカ共和国の助産師活動・教育の紹介他。国内外の助産師の活動や教育の現状と課題などについて、情報提供の機会となる。		
社団法人全国保健センター連合会	17,18,19	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容:女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象者及び対象者数:保健師、助産師、看護師等 60名 開催数(配布数):1回3コース(東京都) 効果:女性の健康づくりについての知識やエクササイズに関する技術の修得を通じ、実践の場で理論的な説明を含めた実技指導を行うことのできる指導員を養成した。	17,18,19	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容:女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象者及び対象者数:保健師、助産師、看護師等 60名 開催(配布)予定数:1回3コース(東京都)
	18,19,33,34,35,39,52,54~57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレット「子育てコラボシリーズ」の制作配布 1父親になるあなたへ 2ふたりで一緒に子育て 3赤ちゃんからこどもへ 目的・内容:保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象者及び対象者数:乳幼児を持つ父親 配布先:市町村保健センター 開催数(配布数):38,500部 効果:母子健康手帳交付時や両親学級、新生児訪問、育児相談等で利用され、広く一般に、父親役割の知識普及がされた。	18,19,33,34,35,39,52,54~57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレット「子育てコラボシリーズ」の制作配布 1父親になるあなたへ 2ふたりで一緒に子育て 3赤ちゃんからこどもへ 目的・内容:保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象者及び対象者数:乳幼児を持つ父親 配布先:市町村保健センター 開催(配布)予定数:40,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	17,18,19	お産のためのエクササイズ、妊産婦体操テキストの制作配布 目的・内容:分娩準備教育と産後のリフレッシュのための体操 テキスト 対象者及び対象者数:妊婦 配布先:市町村保健センター、病院等 開催数(配布数):30,000部 効果:母子健康手帳交付時や両親学級等で利用され、広く一般に知識普及がされた。	17,18,19	お産のためのエクササイズ、妊産婦体操テキストの制作配布 目的・内容:分娩準備教育と産後のリフレッシュのための体操テキスト 対象者及び対象者数:妊婦 配布先:市町村保健センター、病院等 開催(配布)予定数:30,000部
日本医師会	18	平成19年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催 平成19年12月1日(土) 目的・内容: ・地方病院の医療崩壊と産科の崩壊 ・健やかな妊娠・出産について考える 対象:日本医師会会員 日本産科婦人科医会会員 参加人数:186人 開催数(配布数):1回開催 効果:産婦人科医療の抱える様々な問題について認識を深めることができた。	18	平成20年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催 平成20年12月6日(土) 対象:日本医師会会員、日本産科婦人科医会会員 参加人数:250人を予定 開催(配布)予定数:1回開催予定
	18	母体保護法等に関する検討委員会の開催 目的・内容:母体保護法をめぐる諸問題等について検討し答申をとりまとめた。 対象者及び対象者数:委員14名 開催数(配布数):4回開催	18	母体保護法等に関する検討委員会を開催 目的・内容:母体保護法をめぐる諸問題等について検討 対象者及び対象者数:委員 開催(配布)予定数:3回開催予定
		母子保健検討委員会を開催 目的・内容:子ども支援日本医師会宣言を実行していくための具体的方策について検討し答申をとりまとめた。 対象者及び対象者数:委員16名 開催数(配布数):4回開催 効果:都道府県医師会の取り組み状況を調査し、とりまとめた。		母子保健検討委員会の開催 対象者及び対象者数:委員 開催(配布)予定数:4回開催予定
				子ども支援日本医師会宣言 目的・内容:母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
社団法人 日本家族計画協会	26	不妊ホットラインQ&A 目的・内容: 本会の不妊ホットラインにある相談を5つのカテゴリに別けて、50の質問に回答例を紹介しています。 対象者及び対象者数: 不妊相談に携わる専門職 開催数(配布数): 市町村、病産院等 効果: 教材の活用により不妊相談に寄与した。		
社団法人 日本看護協会	18,24	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」 目的・内容: 妊産婦教室などの教育・運営・ケア提供/他職種との協働/参加型研修体験 対象者及び対象者数: 看護職 場合により参加条件付記 定員50名 開催数(配布数): 3日 効果: 修了者53名	17—24	研修会「安全な分娩介助と院内助産の取り組み」 目的・内容: 分娩の生理と胎児/異常の早期発見/安全で安心なお産への考え方/院内助産の取り組み 対象者及び対象者数: 看護職、看護学生 50名 開催(配布)予定数: 2日
	18,24	研修会「フリースタイル出産の援助技術」 目的・内容: 病院・施設におけるアクティブパース/フリースタイル出産/援助技術 対象者及び対象者数: 看護職 場合により参加条件付記 定員50名 開催数(配布数): 2日 効果: 修了者76名	17—27	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容: 母性看護全般を扱う。周産期看護(妊婦・産婦・褥婦・新生児)、女性のライフサイクル(思春期・更年期を含む)、生命倫理、リプロダクティブヘルス、育児ならびに母性・父性に関する研究など 対象者及び対象者数: 看護職、看護学生 定員900名 開催(配布)予定数: 2日
	22	研修会「先天異常をめぐる周産期看護」 目的・内容: 先天異常と出生前診断/先天異常に関わる倫理/カウンセリング/胎児診断と治療のあり方/サポートシステム 対象者及び対象者数: 看護職 場合により参加条件付記 定員50名 開催数(配布数): 2日 効果: 修了者50名	18	地域の拠点病院における助産センターの設置推進 目的・内容: 助産センター設置推進プロジェクトの開催、関連団体との連携、助産師外来・院内助産の開設状況などの把握、行政及び文献からの情報収集、公式HP・「協会ニュース」などによる情報提供
	24	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容: 周産期看護、女性のサイクル、生命倫理、リプロダクティブヘルス、育児ならびに母性・父性に関する研究など。 対象者及び対象者数: 看護職、看護学生 定員900名 開催数(配布数): 2日 効果: 受講修了者827名	18,24	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」 目的・内容: 妊産婦教室などの教育・運営・ケア提供/他職種との協働/参加型研修体験 対象者及び対象者数: 看護職 場合により参加条件付記 定員50名 開催(配布)予定数: 3日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	24	母性看護専門看護師の育成 目的・内容:複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び 集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する。 対象者及び対象者数:看護職で、所定の教育を修了しており、 必要な実務経験がある者 効果:認定者6名	24	助産師外来・院内助産設置推進フォーラムの開催 目的・内容:助産師外来・院内助産の普及と質向上 の推進 開催(配布)予定数:1日
	24	院内助産推進のための普及啓発 目的・内容:助産師外来・院内助産の普及促進活動 対象者及び対象者数:看護職 効果:助産師外来の増加に貢献	24	『医療機関における助産ケアの質評価(第2版)』の 普及 目的・内容:1医療機関における助産ケアの質評価 (第2版)の普及促進 2医療機関に勤務する助産師の助産ケアの実態把握 対象者及び対象者数:1— 2全国の医療機関に勤務する助産師2,000名
	24	助産師の質向上に関する検討 目的・内容:『医療機関における助産ケアの質評価—自己点検 のための評価基準—』の改訂版作成・普及、内容・項目等の評 価 効果:評価表を用いた自己点検の有効な利用の対象が徐々に 明らかになった。平成20年度の調査で最終報告予定	24	助産師に関する政策提言に向けた活動 目的・内容:・母体保護法第39条の時限立法改正の 実現に向けた活動の推進 ・助産師の必要数に関する検討 ・新人助産師臨床研修制度の確立に向けた活動
	25—27	研修会「生殖医療と不妊看護」 目的・内容:生殖医療の現状と基礎知識／不妊に悩む人々へ の具体的支援 対象者及び対象者数:看護職 場合により参加条件付記 定員 50名 開催数(配布数):2日 効果:修了者52名		母性看護専門看護師の育成 目的・内容:複雑で解決困難な看護問題を持つ個 人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを 効率よく提供する。 対象者及び対象者数:看護職で、所定の教育を修 了しており、必要な実務経験がある者



健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	26	不妊看護認定看護師の育成 目的:施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。 内容:共通科目90時間、専門基礎科目90時間、専門科目165時間、演習30時間、隣地実習225時間(合計600時間) 対象者及び対象者数:看護職 定員15名 開催数(配布数):6ヶ月 効果:認定者11名	26	不妊看護認定看護師の育成 目的:不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う実践力をもつ認定看護師候補を育成する。 内容:共通科目90時間、専門基礎科目90時間、専門科目165時間、学内演習/実習255時間(合計600時間) 対象者及び対象者数:看護職 定員15名 開催(配布)予定数:6ヶ月
(社団)日本産科婦人科学会	17,18	地方部会担当公開講座 目的・内容:女性のがんの診断と治療、子宮がん検診、お産をめぐるさまざまな問題、更年期の過ごし方、女性とメタボリックシンドローム、女性の健康週間など 対象者及び対象者数:一般、専門職 開催数(配布数):25県で各1回開催	17,18	地方部会担当公開講座 目的・内容:女性の健康週間、女性のための健康講座、婦人科がん検診の大切さ、女性のライフサイクルと健康、性教育セミナーなど 対象者及び対象者数:一般、専門職 開催(配布)予定数:各都道府県で開催予定
			17,18	女性の健康週間 目的・内容:ポスター作成、女性の生涯健康手帳2009年版の作成、配付、女性の健康週間新聞広告、女性の健康週間期間中イベント、産婦人科医対象セミナー など 対象者及び対象者数:ポスターは産婦人科医院、病院で掲示。 開催(配布)予定数:ポスター18,000部、手帳25万部
日本助産学会	2,3,9,10,14,15,17~27	研究助成 目的・内容:わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成を行い、その成果を研究終了後広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題4件について研究助成を行った。 対象者及び対象者数:助産師 学術奨励研究助成2件 委託研究助成2件 開催数(配布数):1回	17~27,2,3,9,10,14,15	第23回日本助産学会学術集会 目的・内容:<メインテーマ>「助産の質保証—信頼と絆—」 <学術集会長> 恵美須文枝氏(母子保健研修センター助産師学校 2年コース)特別講演、シンポジウム、フォーラム、公開講座、一般講演等を企画している。 対象者及び対象者数:助産師、学生、一般 開催回数:1回 開催日:平成21年3月21日(土)・22日(日) 会場:タワーホール船堀(東京)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,14,15,17～ 27	第21回日本助産学会学術集会 目的・内容：＜メインテーマ＞誕生－よりそう助産師の存在 ＜学術集会長＞毛利多恵子氏（毛利助産院） 会長講演「誕生－よりそう助産師の存在」 特別講演「生きる現場で輝く脳の知恵」 招請講演「死にゆくこと生まれくること」 シンポジウム「誕生を支えるマタニティケアシステム」「助産師の 誕生への教育という陣痛－実践家を育てるために－」 プレコングレスワークショップ「緊急時の助産スキルアップ」「標 準的な新生児心配蘇生術（公認Bコース）」「女性に優しい会陰 縫合術」の2コースを実施、その他、交流集会、公開フォーラム、 一般講演等を実施した。 対象者及び対象者数：助産師、一般1300名 助産師 公認Bコース40名受講 会陰縫合術54名受講 開催日：平成20年3月15日（土）・16日（日）会場：神戸国際会 議場（神戸市） 公認Bコース、会陰縫合術は平成20年3月14日（金）	24	国際助産協働セミナー（予定） 対象者及び対象者数：助産師、国際保健協力に関 心のある方 開催（配布）予定数：開催回数 1回
	24	第3回国際助産協働セミナー 目的・内容：ブラジルと日本の助産師の交流会 対象者及び対象者数：助産師（国際保健協力に関心のある）30 名参加 開催日：平成19年4月11日（水） 会場：JICA兵庫センター 共催：JICA大阪センター	23,24	スキルアップ研修（予定） 目的・内容：助産スキルアップのための研修を行う。 対象者及び対象者数：助産師（日本助産学会会員） 開催（配布）予定数：開催回数 2回
	24	講演会 目的・内容：女性とともにつくるお産と政策 対象者及び対象者数：助産師 159名受講 開催日：平成19年4月11日（水） 会場：京都テルサ 京都市	2,3,9,10,14,15,17～ 27	日本助産学会誌 目的・内容：1学会誌22巻1号2学会誌22巻2号 対象者及び対象者数：助産師、一般（日本助産学 会会員）1750部 開催（配布）予定数：平成20年6月1800部発行、平 成21年1月1800部発行
	23,24	緊急時の助産スキルアップコース 目的・内容：緊急時の助産スキルアップ研修（新生児蘇生法）を 実施した。 対象者及び対象者数：助産師（日本助産学会会員）26名修了 開催日：平成19年10月3日（水） 会場：聖路加国際病院（東京都）	2,3,9,10,14,15,17～ 27	日本助産学会ニュースレター 目的・内容：第56号（平成20年6月1800部発行）、第 57号（平成20年9月1800部発行）、第58号（平成21 年1月1800部発行） 対象者及び対象者数：助産師、一般（日本助産学 会会員）1750部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,14,15,17～ 27	日本助産学会誌発行 目的・内容:1学会誌21巻1号 2学会誌21巻2号 対象者及び対象者数:助産師1578名に配布 開催数(配布数):平成19年6月1700部発行 平成20年1月1700部発行	2,3,9,10,14,15,17～ 27	「国際助産師の日」ポスター 目的・内容:日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会の3団体輪番制で制作 対象者及び対象者数:助産師、(日本助産学会評議員、助産関連機関、省庁)145件 開催(配布)予定数:平成21年3月500部発行
	2,3,9,10,14,15,17～ 27	ニュースレター発行 目的・内容:第53号、第54号、第55号 対象者及び対象者数:助産師1578名に配布 開催数(配布数):平成19年6月1700部発行、平成19年9月1700部発行、平成20年1月1700部発行		
社団法人日本助産師会	17,18,19,22,23,24,26	助産師対象の研修会の実施 目的・内容:妊娠・出産における安全性と快適性を目指し、テーマに沿い、以下の研修会を開催した。 1. 助産師外来・院内助産所を始めるために 2. 助産師の救急対応強化のための研修会 3. 助産学臨床指導者および専任教員研修会 4. 自然分娩セミナー 5. 東洋医学セミナー 6. 今、助産所に求められる医療安全管理とは 7. 開業セミナー 8. 助産師のためのリスクマネジメント 9. 母子訪問指導者研修会 10. これだけは押さえておきたい周産期の話題最前線 11. 対話からはじまる周産期のリスクマネジメント 12. 受胎調節実地指導員ステップアップ研修会 対象者及び対象者数:助産師対象 1. 計61名 2. 計53名 3. 28名 4. 計50名 5. 計102名 6. 62名 7. 41名 8. 78名 9. 計166名 10. 20名 11. 46名 12. 22名 開催数(配布数):1. 東京、大阪で各1回開催 2. 東京、徳島で各1回開催 3. 東京で開催 4. 岡崎市2回 5. テーマ別で3回開催 6. 7. 8. 東京で各1回 9. 東京、大阪で各1回 10. 11. 12. 東京で各1回 効果:いずれの研修会でも受講生の満足度は高く、目的に沿った学習の機会を提供することができた。また、研修によっては、院内助産所を行っている施設での実習や助産所での実習を行うことにより、より効果的な研修を行うことができた。	17,18,19,22,23,24,26	研修会の実施 目的・内容:妊娠・出産における安全性と快適性を目指し、テーマに沿い、以下の研修会を開催した。 1. 助産師外来・院内助産所を始めるために 2. 助産師の救急対応強化のための研修会 3. 助産学臨床指導者および専任教員研修会 4. 自然分娩セミナー 5. 東洋医学セミナー 6. 今、助産所に求められる医療安全管理とは 7. 助産所開業セミナー 8. 助産師のためのリスクマネジメント 9. 自信をつけよう、助産力!! 10. 母子訪問指導者研修会 11. 受胎調節実地指導員研修会 12. 受胎調節実地指導員ステップアップ研修会 13. 親子ふれ愛研修会 対象者及び対象者数:1. 30名×2回 2. 30名×2回 3. 30名 4. 25名×2回 5. 40名×2回 6. 40名×6回 7. 60名 8. 60名 9. 60名×2回 10. 60名×2回 11. 30名 12. 30名 13. 50名(変更あり)×7回開催(配布)予定数:1. 東京で2回開催 2. 東京(埼玉含む)、東京で各1回開催 3. 東京で開催 4. 岡崎市2回開催 5. テーマ別で2回開催 6. 東京ほか全国6か所で開催 7. 大阪で1回開催 8. 東京で1回開催 9. 10. 東京、大阪で各1回 11. 12. 東京で各1コース開催 13. 東京ほか全国7か所で開催

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	17,18,19,20,21,22,23,24	院内助産所、助産師外来開設支援 目的・内容:1. 研修会の開催 2. 助産業務自立サポートプロジェクト 対象者及び対象者数:院内助産所、助産師外来を開設する予定の施設及び助産師を対象に研修会(上記)を開催、また、個別に施設を訪問し開設にあたって必要な技術支援とその後の評価を行った。 開催数(配布数):「助産師外来・院内助産所を始めるために」の研修会は東京と大阪で1回ずつ開催。 効果:1. 研修会は実践に生かせる内容で、受講者の満足度は高かった。 2. 助産師外来開設支援をした病院の評価としては、ケアの質の向上や助産師のモチベーションの向上について報告された。	17,18,19,20,21,22,23,24	院内助産所、助産師外来開設支援 目的・内容:1. 研修会の開催 2. 助産業務自立サポートプロジェクト 対象者及び対象者数:1. 助産師対象 2. 院内助産所、助産医外来開設希望の施設及び助産師 開催(配布)予定数:1. 東京、大阪で開催 2. サポートプロジェクトは依頼により実施
	18,19	院内助産所、助産師外来開設支援。母乳育児の推進、支援 目的・内容:1. 母子訪問指導者研修会の基礎編・スキルアップ編において「授乳・離乳の支援ガイド」や補完食の進め方に関する研修会を、さらにスキルアップ編においては、母乳育児のための10か条のエビデンスを学ぶ研修を開催した。 2. 母乳育児支援ガイドラインの作成 3. 母乳育児機能評価の自己評価実施 対象者及び対象者数:1. 研修会は助産師計166名を対象に実施した。 2. 母乳育児支援ガイドライン作成中 3. 母乳育児機能評価の自己評価をモデル地区で実施 開催数(配布数):1. 東京、大阪で各1回開催 3. 神奈川県で実施 効果:1. エビデンスに基づく母乳育児の推進を図ることができた。 2. 母乳育児支援ガイドラインの作成、母乳育児機能評価については、安全対策委員会で検討中。	18,19	母乳育児の推進、支援 目的・内容:1. 母子訪問指導者研修会の基礎編において母乳育児支援の研修を組み込み開催 2. 母乳育児支援ガイドラインの作成 3. 母乳育児機能評価の検討 対象者及び対象者数:1. 助産師対象 開催(配布)予定数:1. 大阪で開催 2. 作成 3. 母乳育児機能評価の検討

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18,19	子育て・孫育て講座の開催 目的・内容:妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族を対象に、妊娠・出産の話、楽しい子育ての話、おもちゃ・絵本の選び方、離乳食、子どもとのふれあいなどについての講座を開催。2回1コース(奇数月・偶数月) 対象者及び対象者数:妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族対象 開催数(配布数):平成20年1月より開始。毎月第1金曜日計3回開催。1回につき4組～9組参加 効果:地域貢献事業として開催しており、参加者(親世代、祖父母世代)に好評であった。	18,19	子育て・孫育て講座の開催 目的・内容:妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族を対象に、妊娠・出産の話、楽しい子育ての話、おもちゃ・絵本の選び方、離乳食、子どもとのふれあいなどについての講座を開催。2回1コース(奇数月・偶数月) 対象者及び対象者数:妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族対象 1回につき先着25組 開催(配布)予定数:毎月第一金曜日午後
			18,19	親子のふれあい促進 目的・内容:親子ふれ愛研修会(公開シンポジウム)を開催し、母と子のコミュニケーションを図り、育児不安の軽減につなげる。 対象者及び対象者数:一般対象公開シンポジウム 開催(配布)予定数:全国7か所で開催
日本赤十字社	24	助産師養成 目的・内容:助産師の確保及び育成のため。 対象者及び対象者数:助産師を志す学生(平成19年度の国家試験は73名受験で72名合格) 開催数(配布数):助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・1短大にて運営。	24	助産師養成 目的・内容:助産師の確保及び育成のため。 対象者及び対象者数:助産師を志す学生 開催(配布)予定数:助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・1短大にて運営
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催数(配布数):全国で8赤十字医療施設にて設置	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で8赤十字医療施設にて設置
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催数(配布数):全国で23赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で23赤十字医療施設にて設置

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容:妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催数(配布数):全国で53赤十字医療施設にて実施	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容:妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で53赤十字医療施設にて実施。
	17,18,28,30,31,32,33, 35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催数(配布数):全国で63赤十字医療施設にて実施。	17,18,28,30,31,32,33, 35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため 対象者及び対象者数:患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で63赤十字医療施設にて実施。
有限責任中間法人日本母性衛生学会	18	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「お産のあり方が母子に及ぼす影響」 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:安心を感じてもらえる環境でのお産が虐待予防のためにも大切であるという認識を強めることができた。	22,24	第26回千葉県母性衛生学会学術集会 目的・内容:基調講演「周産期医療を担う人材確保に対する国の対策の展望(仮)」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)
	18,19	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム「女性中心のマタニティケアをつくる」1障害を持つ子どもの母親と家族が求めるマタニティケア2女性中心の産科医療を実現するための障壁になる事、乗り越えるポイント3「近代家族」とボディ・ポリティクスという関係性から見た保健・医療への提言 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:医療者、社会学者、障害を持つ子どもの母親のそれぞれ立場からの話題により、女性中心のマタニティケアとはなにか考えることができた。	22,24	平成20年度兵庫県母性衛生学会総会ならびに学術集会 目的・内容:シンポジウム「千葉県における周産期医療を担う人材確保のための取組みと今後の展望」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(兵庫県)



健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18,24	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム「連携と協働～よりよいシステムの構築～」1先進諸国のマタニティーケアシステム—ケアシステムを支える人と環境—2日本におけるプライマリーマタニティー・ケア・システム構築の必要性と展望—臨床経験および諸外国との比較研究をふまえて—3周産期医療のネットワーク型連携の構築 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:マタニティー・ケア・システムの整備には医療専門職だけではなく、女性の生活全体を包括的に考え、消費者を含めた医療以外の専門家との連携、協働の必要があること等について考察できた。	17,14	第26回千葉県母性衛生学会学術集会 目的・内容:特別講演「兵庫県の周産期医療の変遷—県民のお産はどこへ向かうのか—」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)
	19	第37回北海道母性衛生学会学術講演会 目的・内容:特別講演「産後女性の心理とそのケア」 対象者及び対象者数:医師・助産師・保健師・看護師等 200名 開催数(配布数):1回開催(北海道) 効果:産後の女性の心理とその看護の具体策について認識を深めることができた。	26	第12回佐賀母性衛生学会総会並びに学術集会 目的・内容:特別講演「生殖医療を受ける対象へのケアの方向性」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(佐賀県)
	22	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:会長講演「医療における連携を拓く」 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:医療における連携を拡げ、深めるための方向性や方策について考える契機となった。	23,24	第49回母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「産婦人科診療ガイドライン」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)
	25,26,27	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「生殖医療における倫理的問題に向き合うケア～チーム医療の中での助産師の役割～」 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:遺伝カウンセリングにおける助産師の役割、立場について考える機会となった。	26	第49回母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「周産期における遺伝カウンセリング」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	23,24	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「新生児蘇生法:その意義とこれから」 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:新生児蘇生法の意義と活動についての知識の普及を行うことができた。	25,26,27	第49回母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「不妊治療の課題と展望」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)
	24	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム「連携と協働に向けての人材育成」1 医学教育における改革の経緯と方向性2周産期医療における インタープロフェッショナル教育の可能性3協会横断的実践に おける専門家とその育成～状況的学習(situated learning)の 視点から～ 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医 師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:これからの医療者養成における多職種連携、組織間学 習に対応する教育のあり方や専門職の協働、連携について考 えることができた。	24	第49回母性衛生学会学術集会 目的・内容:招聘講演「若き保健医療従事者への メッセージ」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健 師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)
	24	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:特別講演「高めたい。医療人の社会力」 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医 師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:医療人に欠かせない資質としての社会力について、現在 のわが国の状況および課題が明らかになった。	22,23,24	第49回母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム「助産師の役割を拓く」1助 産師外来からバースセンター2遠隔医療と助産師3 産褥ホームの可能性4産褥うつと助産師5地方行政 と新たな連携 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健 師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	24	第48回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム「文化を超えたマタニティケア」1グローバルヘルスの視点から見たマタニティケア2ミャンマー農村部における地域母子保健活動支援～人々と共に在る中で見えてきたマタニティケアのひとつのカたち～3アジアの出産から考える—TBAの存在を忘れないで— 対象者及び対象者数:医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数):1回開催(茨城県) 効果:国籍、文化、人種などを問わないグローバルなマタニティヘルスケアについて考察をする機会を得た。	17,23	第49回母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「母体死亡とニアミス」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)
	22,24	平成19年度大阪母性衛生学会総会 目的・内容:特別講演「滋賀県における産科医療の現状と今後の方策—産科オープンシステムの導入—」 対象者及び対象者数:医師・助産師・保健師・看護師等 300名 開催数(配布数):1回開催(大阪市) 効果:産科医療の現状と、今後の産科オープンシステムの導入による産科医療の可能性と課題について知ることができた。	17	第49回母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「妊娠と血栓症」 対象者及び対象者数:医師、助産師、看護師、保健師等 開催(配布)予定数:1回開催(千葉県)
	24	第19回兵庫県母性衛生学会総会ならびに学術集会 目的・内容:Round Discussion「産科医療にもっと光を」 対象者及び対象者数:医師・助産師・保健師・看護師等 200名 開催数(配布数):1回開催(兵庫県) 効果:昨今の産科医療の課題と現状を討議できた。		
	23,24	平成20年千葉県母性衛生学会セミナー 目的・内容:一般産科施設における妊婦健診・分娩管理の実際 対象者及び対象者数:医師・助産師・保健師・看護師等 200名 開催数(配布数):1回開催(千葉県) 効果:妊婦健診、分娩管理の現状報告により医療者の資質の向上に向けた情報提供となった。		
	23,24	平成20年千葉県母性衛生学会セミナー 目的・内容:産科医療における最新知識 対象者及び対象者数:医師・助産師・保健師・看護師等 200名 開催数(配布数):1回開催(千葉県) 効果:産科医療の最新知識を得る機会となった		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	27	第26回 鳥取県母性衛生学会総会ならびに学術講演会 目的・内容:特別講演「抗リン脂質抗体を有する女性の不育症治療と周産期管理」 対象者及び対象者数:医師・助産師・保健師・看護師等 200名 開催数(配布数):1回開催(鳥取県) 効果:抗リン脂質抗体を有する女性の周産期管理について知識を普及することができた。		
社団法人日本産婦人科医会	17,18	・妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を行い、会員への周知に努めた。 ・妊産婦死亡の実態について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行った。 対象者及び対象者数:産婦人科医師(日本産婦人科医会会員) 効果:産婦人科医に注意をうながした。	17,18	・妊産婦死亡の実態を含む産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を行い、会員への周知に努める。 ・妊産婦死亡の実態について、経年的な傾向の変化を検討し、さらに問題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行う。 対象者及び対象者数:産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	17	厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究(主任研究者 池田智明)」に参加し、周産期医療システムの再評価と改善を目的に行うわが国の妊産婦死亡の調査・分析の手法について、協議し決定した。	17,18,23	日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会 産婦人科診療ガイドライン作成委員会に参加し、良質な周産期医療の提供、標準的周産期医療の明確化などを目的とした「産婦人科診療ガイドライン:婦人科編」の作成を行う。 対象者及び対象者数:産婦人科医師(日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会会員)
	17,18,23	日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会 産婦人科診療ガイドライン作成委員会に参加し、良質な周産期医療の提供、標準的周産期医療の明確化などを目的とした「産婦人科診療ガイドライン:産科編」の作成を行った。 対象者及び対象者数:産婦人科医師(日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会会員)	18	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動を推進する。
	18	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議した。 効果:運動推進ができた。	18	厚生労働科学研究医療技術評価総合研究事業「産科領域における医療事故の解析と予防対策」(中林班)に参加し、安全な分娩環境の整備のため研究を行う。
	18	「分娩の安全性」に関して、病診連携、病病連携と共に助産所と医療とのネットワーク作成等について、健やか親子21推進協議会・課題2幹事会を通じて継続的な協議を行った。	18	出生前小児保健指導(プレネイタルビジット)事業に関して、日本小児科医会等と話し合いを持ちながら、各支部での活動状況の実態を調査し、有効な活動方法を継続して検討する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18	出生前小児保健指導(プレネイタル・ビジット)事業について、各都道府県支部での実施状況、指導要項等について検討を行った。	18	厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究」成果を参考にして、将来的には公費負担の実現にむけて努力する。
	18	パンフレット「新生児聴覚スクリーニング検査のご案内」 目的・内容： ・厚生労働科学研究「新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究」班が作成した「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」改訂版を全国支部に配布し周知に努めた。 ・厚生労働科学研究「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」班の実施した「新生児聴覚スクリーニングの普及度に関する調査」に協力した。また、同研究班が作成した「新生児聴覚スクリーニング検査パンフレット」を全国支部を通じて会員に配布し周知に努めた。 ・日本耳鼻咽喉科学会がまとめた新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査施設リストについて、HP上でリンクを行っている。 ・新生児聴覚スクリーニング検査の効率的実施にむけて各支部の状況に関し情報収集し検討を行った。 対象者及び対象者数：[パンフレット配布]都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。 [精密聴力検査施設リスト]一般 開催数(配布数)：約5000部 効果：[パンフレット配布]支部より要望があり、周知の効果がみられた。 [精密聴力検査施設リスト]一般市民に対して情報を公開し利用が可能となった。	19	妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎや一献金基金」HPに継続掲載する。(日産婦医会HPにリンク) 対象者及び対象者数：一般
	18,19	妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎや一献金基金」HPに掲載した。(日産婦医会HPにリンク) 対象者及び対象者数：一般 効果：妊産婦に対し、情報として利用できるシステムを整備した。	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」について、HPに掲載し継続して啓発に努める。 対象者及び対象者数：一般

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」について、ホームページに掲載し周知と普及の啓発に努めた。 対象者及び対象者数：会員、一般 効果：普及を期待している。	22,24	母体救急搬送システムの確立を目指して、総合・地域周産期母子医療センターの設置を推進しつつ整備状況を把握し、産科医師等マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステム等、実効性のある推進に向けて努力する。 対象者及び対象者数：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	22	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義に関して継続して検討を行った。 効果：医会会員に対して、概念を周知した。	22	NICUに関する諸問題について、対外広報等により行政に対して後方支援システム(施設)の早期構築の実現に向けて今後も活動する。
	22,24	・新生児蘇生技術の習得に向け、Neonatal Cardiopulmonary Resuscitation (NCPR)について関連学会と協調しながら、平成20年度に講習会実施のための予算および使用備品などについて検討を行った。 ・医療法改正に伴い、分娩を扱う助産所の開設者における嘱託医師・嘱託医療機関の確保に協力した。 その対応にあたり、嘱託医師・嘱託医療機関の契約書・合意書モデル案を作成し、HPに掲載した。 対象者及び対象者数：会員	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努める。(日本早産予防研究会：会長は岡井崇昭和大学教授、世話人として田中常務理事が参加。)
	22	総合周産期母子医療センター等設置推進のため、全国支部に対し、現状の調査を行いこれを分析した。現在設置数の把握及びHPに掲載し周知に努めた。	22	新生児蘇生技術の習得に向け、Neonatal Cardiopulmonary Resuscitation (NCPR) 講習会を、協力団体や関連学会と協働しながら開催し、インストラクターを含め指導者の育成・普及を行う。 対象者及び対象者数：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	22	安心して出産できる母子保健医療の提供と医療安全の観点から、助産所における分娩管理等について、調査を実施した。 対象者及び対象者数：会員、医療施設	22,24	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義を引き続き模索し、実効性のある推進に向けて努力する。



健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	22	NICUに関する諸問題について、対外広報に努めるとともに、行政に対して後方支援システム（施設）の早期構築の実現に向けて行った活動が評価され、厚生労働省から都道府県知事あてに、周産期医療体制の充実を図るための対策を講じるよう通知が発出された。	24	・コ・メディカル生涯研修会開催 産婦人科の看護に携わる人を対象として、医療・看護水準の維持向上を図る目的で、コ・メディカル生涯研修会を開催する。（1回） ・コ・メディカルの知識や倫理意識向上のため、各支部で開催するコ・メディカル研修会を支援する。（10支部で開催） 対象者及び対象者数：医療従事者
	22	助産師外来及び院内助産所を開設している施設について、今後の医療提供体制にどのような影響を与えるか等を検証する目的で、現状を把握すべく、調査を実施した。 対象者及び対象者数：医療施設	24	全国医師会立看護学校に助産師養成コースの開設を推進するための支援を行う。
	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努めた。（日本早産予防研究会：会長は岡井崇昭和大学教授、田中常務理事が参加。）	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。
	24	・コ・メディカル生涯研修会開催 産婦人科の看護に携わる人を対象として、医療・看護水準の維持向上を図る目的で、コ・メディカル生涯研修会を開催した。（1回） ・コ・メディカルの知識や倫理意識向上のため、各支部で開催したコ・メディカル研修会を支援した。（10支部で開催） 対象者及び対象者数：医療従事者		
	24	ポスター、パンフレット「当院で分娩をなさる皆様へのお知らせ」目的・内容：医政局長通知「分娩における医師、助産師、看護師等の役割分担と連携等について」に関する妊婦向けパンフレット及びポスターを作成し、一般社会に訴えた。 対象者及び対象者数： ・都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。 ・一般		
	24	全国医師会立看護学校の中に助産師養成コースの開設を推進するため、本会支部を通じ支援を行った。		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握及びホームページに掲載し周知に努めた。 効果：一般市民に対して情報を公開し利用が可能となった。		
日本母乳の会	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第16回母乳育児シンポジウム富山実行委員会4回開催 目的・内容：北陸地区の実行委員会で母乳育児の状況。シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催。 対象者及び対象者数：参加人数：1回40—60名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他 延べ約200名 開催数(配布数)：開催は4回	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第17回母乳育児シンポジウム関西実行委員会7回開催 目的・内容：関西地区の実行委員会で母乳育児の状況、シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回(1月、3月、4月、5月、6月、7月、9月)開催。 対象者及び対象者数：参加人数：1回40—60名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他延べ約300名 開催(配布)予定数：開催は7回
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第17回母乳育児シンポジウム関西実行委員会 目的・内容：関西地区(兵庫、大阪、滋賀、京都、和歌山)の実行委員会開催、母乳育児、シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。市民交流会の準備。月1回開催。 対象者及び対象者数：参加人数：1回40—50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他 延べ約200名 開催数(配布数)：開催は4回	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第18回母乳育児シンポジウム北海道実行委員会 目的・内容：北海道地区の実行委員会開催、母乳育児、シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。市民交流会の準備。月1回開催。 対象者及び対象者数：参加人数：1回40—50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他 延べ約200名 開催(配布)予定数：開催は4回
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第16回母乳育児シンポジウムの開催 目的・内容：特別講演1：寺澤捷年千葉大学医学研究院・和漢診療学教授「西洋医学と和漢診療学における身体観」 特別講演2：関根道和 富山大学医学部保健医学教室助教授「富山スタデーから見た食育・母乳育児」 シンポジウム1「母乳育児をすすめるために—施設での取り組み」 シンポジウム2「地域で支える母乳育児」 市民と医療者と交流会「支え、支えられて母乳育児」 対象者及び対象者数：参加人数：900名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催数(配布数)：1回	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第17回母乳育児シンポジウムの開催 目的・内容：特別講演1：鯨岡 峻 中京大学心理学部教授「育てられるもの」から「育てるもの」へ 特別講演2：松岡悦子旭川医科大学医学部准教授「文化のなかの出産・育児と母乳」 シンポジウム1「施設でつなぐ母乳育児」 シンポジウム2「お産の集約化」の中でつなぐ母乳育児 市民と医療者と交流会「世代をつなぐ母乳育児」 参加人数：1300名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催(配布)予定数：1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第16回母乳育児シンポジウムポスター 目的・内容: 広くシンポジウムを知らせ、参加を呼びかける。 対象者及び対象者数: 北陸を中心とした産科施設・保健センターに配布。全国3次、2次病院配布 開催数(配布数): 2000枚	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第17回母乳育児シンポジウムポスター 目的・内容: 広くシンポジウムを知らせ、参加を呼びかける。 対象者及び対象者数: 関西を中心とした産科施設・保健センターに配布。全国3次、2次病院配布 開催(配布)予定数: 2000枚
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第16回母乳育児シンポジウム 交流会向けチラシ 目的・内容: 母親、市民にシンポジウム交流会への参加の呼びかけ 対象者及び対象者数: 母親、市民、医療者保健センター、子育て支援センター 開催数(配布数): 5000枚	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第17回母乳育児シンポジウム 交流会向けチラシ 目的・内容: 母親、市民にシンポジウム交流会への参加の呼びかけ 対象者及び対象者数: 大阪の母親、市民、医療者保健センター、子育て支援センター 開催(配布)予定数: 5000枚
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「母乳育児成功のための10カ条」ポスター制作配布 目的・内容: 母乳育児の普及のために 対象者及び対象者数: 産科施設、保健センター等 開催数(配布数): 10000枚	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「母乳育児成功のための10カ条」ポスター制作配布 目的・内容: 母乳育児の普及のために 対象者及び対象者数: 産科施設、保健センター等 開催(配布)予定数: 10000枚
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第10回、第11回ワークショップ 目的・内容: 母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象者及び対象者数: 母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ 各80名、述べ160名 開催数(配布数): 開催は2回。第10回愛知県蒲郡市開催10月27,28日参加者64名、第11回は愛媛県松山市84名	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第12回、第13回ワークショップ 目的・内容: 母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象者及び対象者数: 母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ 各80名、述べ160名 開催(配布)予定数: 開催は2回 第11回新潟県越後湯沢市10月25,26日
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容: 18施設申請、書類審査の結果、訪問審査は、10施設 対象者及び対象者数: 10施設の現地調査で認定申請は5施設 開催数(配布数): 現地調査延べ51名	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容: 17施設申請、書類審査の結果、訪問審査は、13施設 対象者及び対象者数: 13施設の現地調査 開催(配布)予定数: 現地調査延べ56名

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第4回全国BFH会議 目的・内容:日本における母乳育児のスタンダードの確立。 BFH病院での母乳育児の維持、保護のための討議 対象者及び対象者数:45のBFH施設および本年認定される施設 の責任者、産科、小児科、助産師 開催数(配布数):約120名	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第4回全国BFH会議 目的・内容:日本における母乳育児のスタンダード の確立。BFH病院での母乳育児の維持、保護のため の討議 対象者及び対象者数:45のBFH施設および本年認 定される施設の責任者、産科、小児科、助産師 開催(配布)予定数:約120名
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	糖水・人工乳補充についての検討会 目的・内容:医学的適応として、母乳以外のものを補足するとき の問題を研究。	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第3回先進国BFHI会議出席 目的・内容:先進国においてBFH認定のコーディネ ーター会議に出席し、意見交換
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容:地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支 援 対象者及び対象者数:産科医、小児科医、助産師看護師、保 健師、母子保健推進委員、母親、その他 約5000人 開催数(配布数):各地30回	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	糖水・人工乳補充についての検討会 目的・内容:医学的適応として、母乳以外のものを 補足するときの問題を研究。 対象者及び対象者数:産科医、小児科医
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容:BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定 申請の増加 対象者及び対象者数:産科施設の産科医、小児科、助産師、 看護師他スタッフ約300人 開催数(配布数):8施設	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	各地の母乳の会、および、母親グループへの講師 派遣や支援 目的・内容:地域の母乳の会後援、講師派遣、母親 たちへの支援(東北母乳の会、青森母乳の会、いわ て母乳の会、宮城母乳育児をすすめる会、東京母 乳の会、かながわ母乳の会、愛知母乳の会、ぎふ 母乳の会、大阪母乳の会、みえ母乳の会、わかや ま母乳の会、しまね母乳の会、兵庫母乳・育児の 会、高知母乳の会、鹿児島母乳の会など) 対象者及び対象者数:産科医、小児科医、助産師 看護師、保健師、母子保健推進委員、母親、その他 約5000人 開催(配布)予定数:各地30回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容:シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 対象者及び対象者数:産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催数(配布数):約2000部	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容:BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象者及び対象者数:産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ 約300人
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「母乳と虫歯」小冊子、作成・販売 目的・内容:母乳育児継続のために、障害となっている事柄についての解説、母親支援、子育て不安の解消として解説 対象者及び対象者数:産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般市民 開催数(配布数):部数未定	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第16回第17回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容:シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 対象者及び対象者数:産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催(配布)予定数:約3600部
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	ニュースレターを4回、発行 目的・内容:母乳育児等、情報を提供。 対象者及び対象者数:会員(産科医、小児科医、そのほか医師、助産師、看護師、保健師、栄養士、薬剤師、保育士、一般市民) 開催数(配布数):総計6000部	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「BFHデータブック」、「母乳育児成功のための10カ条の日本における実践」出版 目的・内容:48BFH施設の母乳育児状況を調査し、データブックとして出版し、母乳育児を取り組む施設の参考とする 対象者及び対象者数:母乳育児に取り組む施設、BFH認定を目指す施設。
			18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「母乳と虫歯」小冊子、作成・販売 目的・内容:母乳育児継続のために、障害となっている事柄についての解説、母親支援、子育て不安の解消として解説 対象者及び対象者数:産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般市民 開催(配布)予定数:部数未定
			18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	ニュースレターを4回、発行 目的・内容:母乳育児等、情報を提供。 対象者及び対象者数:会員(産科医、小児科医、そのほか医師、助産師、看護師、保健師、栄養士、薬剤師、保育士、一般市民) 開催(配布)予定数:総計6000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
財団法人 母子衛生研究会	17～19,21	「母子保健教室」開催 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象者及び対象者数:妊婦および家族 9,800名 開催数(配布数):56回開催 効果:妊娠・出産・育児に対する不安の軽減と自身を与えることができた。	17～19,21	「母子保健教室」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象者及び対象者数:妊婦および家族 10,000名 開催(配布)予定数:年間56回
	17～21,28～39,41～ 44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん&子育てインフォ」配布 目的・内容:妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発 対象者及び対象者数:妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 開催数(配布数):全国の市町村等を通じて130万部配布 効果:妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。	17～21,28～39,41～ 44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数:妊娠届出の妊婦 130万人 開催(配布)予定数:年間約130万部
	18	「妊娠期・授乳期ママの栄養miniガイドーあなたの食事はだいじょうぶ？」配布 目的・内容:妊娠・授乳期の栄養についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数:妊娠届出の妊婦 102万人 開催数(配布数):全国の市町村等を通じて102万部配布 効果:妊産婦が妊娠・授乳期の栄養について正しい知識を身につけることができた	18	「妊娠期・授乳期ママの栄養miniガイドーあなたの食事はだいじょうぶ？」 目的・内容:妊娠・授乳期の栄養についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数:妊娠届出の妊婦 100万人 開催(配布)予定数:年間約100万部
	18	「ママの食と健康ガイド」配布 目的・内容:妊娠・授乳期の栄養及び健康管理に関する正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数:妊娠届出の妊婦 114万人 開催数(配布数):全国の市町村等を通じて114万部配布 効果:妊婦が妊娠・授乳期の適切な栄養摂取と生活管理について正しい知識を身につけることができた。	18	「ママの食と健康ガイド」 目的・内容:妊娠・授乳期の栄養及び健康管理に関する正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数:妊娠届出の妊婦 114万人 開催(配布)予定数:年間約114万部



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	17~21,28~39,41~ 44,52,54,55,58	インターネット「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数:妊産婦および育児期の保護者 開催数(配布数):年間アクセス数 250万件 効果:妊娠・出産・育児についての疑問や不安に関する情報が得られ、育児不安の軽減が図れた。	17~21,28~39,41~ 44,52,54,55,58	インターネット「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数:妊産婦および育児期の保護者等250万人
社団法人 母子保健推進会議	15,19,34,43,44,51,52, 54,55,58,61,62,63	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。 内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、子育て中の母親に伝えてほしいことの講演、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等。 対象者及び対象者数:行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等200名 開催数(配布数):1回開催(新潟県) 効果:母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。	17-19,22,24,28- 30,52,54,58,61	平成20年度「健やか親子21全国大会」 目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。 内容:功労者表彰、特別講演、シンポジウム 対象者及び対象者数:保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催(配布)予定数:1回開催(福岡県)
	2,3,4,9,10,15,16,19,2 9,34,35,43,44,50- 55,58,61,62,63	母子保健推進員研修会 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、授乳・離乳の支援、食育の推進、子どもの睡眠と生活リズム、妊婦の喫煙と低出生体重児、産後うつ予防、思春期保健、乳幼児期の親とこのかかわりと思春期やせ、「こんにちは赤ちゃん事業」実施に向けた実技実習等をテーマに講演、活動報告等 対象者及び対象者数:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 4,350名 開催数(配布数):12回開催:山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・新潟県・宮城県・群馬県・沖縄県・栃木県 効果:母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。	15,16,19,33,34,35,39, 40,43,44,50-55,61- 63	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげることを目的とする。 内容:全国の母子保健推進員の活動報告 対象者及び対象者数:厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等200名 開催(配布)予定数:1回開催(福岡県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	17,19,28,31,34,35,42-44,51,52,58	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」・「元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的：母子保健推進員等が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材 内容：妊婦中から乳幼児の子どもの特徴、気をつけること等を記載。B6判3ツ折。 対象者及び対象者数：妊婦・乳幼児を持つ親 開催数(配布数)：各20,000部制作・配布 効果：母子保健推進員等が妊婦・乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材。母親に必要な情報を伝達する手段として活用されている。	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,39,40,50-55,58,62,63,	母子保健推進員研修会 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告 対象者及び対象者数：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催(配布)予定数：12回開催(山口県・佐賀県・富山県・長野県・長崎県・熊本県・栃木県・群馬県・宮城県・福岡県・鹿児島県・沖縄県)
	2,3,6,9,15,16,19,33-35,39,40,43,44,50-55,58,61-63,66	組織育成費の助成 目的：母子保健推進員組織の育成・支援 内容：県レベルの母子保健推進員組織がある県に対し、最長5年まで100,000円を助成。 対象者及び対象者数：沖縄県母子保健推進員連絡協議会 開催数(配布数)：1回 効果：県レベル協議会設置、育成により市町村間の母推の交流が生まれ、意識と資質が向上、活動活性化。	17,19,31,35,42,43,44,51,52,55,58	リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」・「元気に育てよう私の赤ちゃん」 目的：母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材 内容：妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつけること等を記したB6判3ツ折のリーフレットを制作・配布 対象者及び対象者数：妊婦・乳幼児を持つ親 開催(配布)予定数：各20,000部作成配布
	2,3,9,10,15,16,19,33-35,39,40,43,44,50-58,61-63,66	地域母子保健福祉情報紙—母推さん—の発行 目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。 対象者及び対象者数：都道府県・保健所・市町村・関係団体へ 毎月10,000部発行 開催数(配布数)：12回(毎月1回1日発行) 効果：行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの反響が寄せられている。	19,50-58,61-63	第6回子育てピア支援者養成セミナー 目的：母子保健推進員等を育成・支援する保健師等を養成し、育児不安の軽減や虐待に至る芽を摘み子育てを支援すると同時に、自分自身が持つ本来の力を取り戻す 内容：エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論とスキルを実習中心に学ぶ。 対象者及び対象者数：保健師、保育士、行政母子保健担当者等 開催(配布)予定数：平成21年1月(予定)30名

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	2,3,7,9,10,19,34,39,40,50-55,58,62,63	海外からの視察団の受け入れ 目的：地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の途上国への普及、ならびに母子保健推進員等の意識の高揚を図る 内容：(財)ジョイセフに協力し、先駆的に母子保健推進員活動を展開する県に視察団を3回受け入れ、交流を図った。 対象者及び対象者数：リプロヘルス指導者セミナー：山口県、BCCセミナー：沖縄県、母推：和歌山県 開催数(配布数)：3回 効果：計18か国の母子保健関係者に日本の経験を伝え、保健師、母推と交流、母推が発足した国も。日頃の活動を客観的に見直す機会となり意識の高揚にも。	2,3,9,10,15,16,19,33-35,40,50-58,61-63	地域母子保健福祉情報紙—母推さん—の発行 目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象者及び対象者数：都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ月10,000部発行 開催(配布)予定数：12回(毎月1回1日発行)
			16,19,34,35,39,50-55,58,61-63	母子保健啓発教材の制作・頒布 目的：母子保健知識の普及、及び母子保健推進員活動の円滑な推進を図る。 内容：母子保健知識の普及に必要な教材、及び乳幼児を持つ家庭への訪問時に必要な教材等を制作し頒布する。 対象者及び対象者数：市町村母子保健主管課 開催(配布)予定数：随時

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
日本糖尿病・妊娠学会	18	<p>満足できる妊娠・出産への支援                      目的・内容：                      ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。                      ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。                      ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う。                      ・糖尿病と妊娠に関するQ&amp;Aホームページコンテンツ、小冊子の製作                      ・「糖尿病から母児を守ろう」キャンペーンを11月14日の週の糖尿病週間にて実施                      ・「糖尿病合併妊婦および妊娠糖尿病における血糖コントロール指標としてのグリコアルブミンに関する検討」調査研究の実施                      対象者及び対象者数：平成19年11月23日、24日「第23回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、日本都市センター（東京）、約300名参加（専門職対象）                      開催数（配布数）：1回開催                      効果：糖尿病と妊娠に関する学理およびその応用の研究についての発表、知識の交換、会員相互の交流、情報等の提供、啓蒙活動を行うことにより、糖尿病およびこれに準ずる病態を有する妊婦の管理とその児の安全性確保等の進歩に成果をもたらした。</p>	18	<p>満足できる妊娠・出産への支援                      目的・内容：                      ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。                      ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。                      ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う                      ・糖尿病と妊娠に関するQ&amp;Aホームページコンテンツ、小冊子の充実                      ・「糖尿病から母児を守ろう」キャンペーンの拡大                      ・「糖尿病合併妊婦および妊娠糖尿病における血糖コントロール指標としてのグリコアルブミンに関する検討」調査研究の実施                      対象者及び対象者数：「第24回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、平成20年11月28日、29日、高崎シティギャラリーコアホール、約300名参加予定                      開催（配布）予定数：1回</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
日本母乳哺育学会		第20回日本母乳哺育学会 学術集会 公開講演会『こんなにすばらしい母乳育児』 目的・内容:学会の初日午後を一般公開とし、実際に母乳哺育をおこなった母親の体験をもとに、市民と親との交流をはかり、育てる側にたった母乳育児支援について討論する。 対象者及び対象者数:一般・保育関係者・小児科医・産科医・助産師・保健師等 述べ353名。職種や、考え方の違いを越えて、母乳育児支援を力を合わせて行うことをめざす。 効果:健やか親子21のパンフレットを配布する。シンポジウム:母乳育児支援を考える＝手をつなぎあった母乳育児運動		
(社)日本女医会			17,18,22	研修会「十代の性の健康」支援ネットワーク作り 目的・内容:医療の専門家の立場から全国の支部会員を通じ、それぞれの地域に密着して、自治体や諸組織と連携し地域の子育て支援ネットワークを構築してゆく。 対象者及び対象者数:医師、保健行政担当者、教育委員会、養護教諭、保護者等 開催(配布)予定数:1回
全国母子保健推進員等連絡協議会	15,19,34,43,44,51,52,54,55,58,61,62,63	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会 目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。 内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等。 対象者及び対象者数:行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等200名 開催数(配布数):1回開催(新潟県) 効果:母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場となり意識の高揚にも繋がった。	17,19,22-24,28-30,52,54,58,61	平成20年度「健やか親子21全国大会」【後援】 目的:同大会を後援し、健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。 内容:功労者表彰、特別講演、シンポジウム 対象者及び対象者数:保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催(配布)予定数:1回開催(福岡県)

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	2,3,4,9,10,15,16,19,29,34,35,43,44,50-55,58,61-63	<p><b>母子保健推進員研修会【後援】</b>  <b>目的:</b> 母子保健推進会議と開催県が共催する同研修会に後援し、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図ることを目的とする。  <b>内容:</b> 虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、授乳・離乳の支援、食育の推進、子どもの睡眠と生活リズム、妊婦の喫煙と低出生体重児、産後うつ予防、「こんにちは赤ちゃん事業」実施に向けた実技実習等をテーマに講演、活動報告等  <b>対象者及び対象者数:</b> 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,350名  <b>開催数(配布数):</b> 12回開催 山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・新潟県・宮城県・群馬県・沖縄県・栃木県  <b>効果:</b> 母子保健推進員の資質の向上と他市町村の母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。当研修会で学んだこと、得た情報は、日々の活動に即、役立てられている。</p>	15,16,19,33,34,35,39,40,43,44,50-55,61-63	<p><b>全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会</b>  <b>目的:</b> 母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。  <b>内容:</b> 全国の母子保健推進員の活動報告  <b>対象者及び対象者数:</b> 厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等200名  <b>開催(配布)予定数:</b> 1回開催(福岡県)</p>
	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,39,40,43,44,50-58,63	<p><b>地域母子保健福祉情報紙—母推さん—の発行【協力】</b>  <b>目的:</b> 母子保健推進会議発行の同紙制作に協力、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。  <b>内容:</b> 厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。  <b>対象者及び対象者数:</b> 都道府県・保健所・市町村・関係団体へ毎月10,000部発行  <b>開催数(配布数):</b> 12回(毎月1回1日発行)  <b>効果:</b> 行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、母子保健推進員等の学習、情報収集のツールとして日々の活動に役立てられている。</p>	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,39,40,50-55,58,62,63	<p><b>母子保健推進員研修会【後援】</b>  <b>目的:</b> 母子保健推進会議と開催県が共催する同研修会を後援し、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。  <b>内容:</b> 虐待予防と地域でできること、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告など  <b>対象者及び対象者数:</b> 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度  <b>開催(配布)予定数:</b> 12回開催(山口県・佐賀県・富山県・長野県・長崎県・熊本県・栃木県・群馬県・宮城県・福岡県・鹿児島県・沖縄県)</p>



健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,19,34,39,40,50-55,58,61-63	海外からの視察団の受け入れ 目的:地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の途上国への普及、ならびに母子保健推進員等の意識の高揚を図る 内容:(財)ジョイセフ、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母推活動を紹介するとともに交流を図った。 対象者及び対象者数:リプロヘルス指導者セミナー:高知県、BCCセミナー:沖縄県、母推:和歌山県 開催数(配布数):3回 効果:計18か国の母子保健関係者に母推活動を紹介し交流、母推が発足した国もある。日本の母推も日頃の活動を客観的に見直す機会となり意識の高揚に繋がった。	2,3,9,10,15,16,19,33-35,40,50-58,63	地域母子保健福祉情報紙—母推さん—の発行 目的:母子保健推進会議が発行する同紙の制作に協力し、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声などを掲載。 対象者及び対象者数:都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ月10,000部発行 開催(配布)予定数:12回(毎月1回1日発行)
			7,9,10,15,19,34,39,40,50-55,58,62,63	海外からの視察団の受け入れ 目的:日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員等が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。 内容:(財)家族計画国際協力財団、(社)母子保健推進会議に協力し視察団の受け入れ、各県(3県)母子保健事業ならびに母子保健推進員活動野実際を紹介すると同時に、視察団と各県母子保健推進員等との交流を図る。 対象者及び対象者数:リプロヘルス指導者セミナー:富山県、BCC(母子保健にかかわる行動変容を促す)セミナー:沖縄県、母子保健推進員活動視察:和歌山県 開催(配布)予定数:3回(7月、8月、11月)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
日本生殖看護学会	24・26	第5回 日本生殖看護学会学術集会の開催 目的・内容：メインテーマ：生殖看護における対象理解 一次世代にも通じる看護をめざして～ 会長講演：生殖看護における対象理解のためのトリアージを利用したプライマリーナーシング 講演：AID（非配偶者間人工授精）を選択して家族になることとは 対象者及び対象者数：看護専門職者および医療職者 開催数（配布数）：期日：9月9日（日）9:30～17:00 ※受付開始 9:00～ 会場：アクロス福岡 7階大会議室 効果：全国の不妊看護に携わっている看護者の連携をとり、不妊看護の重要性や援助の方法、また、現在の不妊看護における倫理的問題についての認識を深めることができた。	24・26	第5回 日本生殖看護学会学術集会の開催 目的・内容：メインテーマ：カップルの親密さ～危機を乗り越えるための方略～ 会長講演：「カップルの親密さを考える：自己表出を促進するケアを目指して」 講演：「カップルの親密さとがん医療におけるサバイバルの現状」 対象者及び対象者数：看護専門職者および医療職者 期日：7月20日（日）9:30～17:30 ※受付開始 9:00～ 会場：兵庫県立大学 明石キャンパス 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71
	24・26	平成19年度生殖看護実践セミナー テーマ：授かった命を大切にする看護 対象者及び対象者数：看護専門職者ほか、計74名参加 開催数（配布数）：9月8日（土）13:30～ 会場：浜の町病院（福岡） 聖路加看護大学21世紀COEプログラム共催 効果：赤ちゃんポストの理念や現状、養子縁組経験者の講演などから不妊における支援とからめて、重要な示唆を得た。	24・26	平成20年度生殖看護実践セミナー テーマ：不妊治療後に妊娠した夫婦への継続的支援 対象者及び対象者数：看護専門職者 開催（配布）予定数：7月19日（土）13:30～ 兵庫県立大学
	24・26	各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援 第5回日本生殖看護学会九州地区勉強会の開催 目的・内容：不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う。 対象者及び対象者数：看護専門職者 開催数（配布数）：各地域で行われる勉強会の支援 効果：各地域で開催することで、認定看護師等、不妊看護を専門とする看護者の相互の連携が深まり、対象者への看護援助の理解が深まり資質の向上につながった。	24・26	各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援 目的・内容：不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う。 対象者及び対象者数：看護専門職者 開催（配布）予定数：各地域で行われる勉強会の支援

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	24・26	不妊看護に関するニュースレターの発行 目的・内容: 学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。 対象者及び対象者数: 看護専門職者で本学会員 開催数(配布数): 年4回、会員数分を配布予定 効果: 不妊に関する最新の情報提供が行われ、看護者の質の向上に向けた活動ができた	24・26	不妊看護に関するニュースレターの発行 目的・内容: 学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。 対象者及び対象者数: 看護専門職者で本学会員 開催(配布)予定数: 年4回、会員数分を配布予定
	24・25・26	看護ケア提供者のための相談業務(コンサルテーション)の開始 目的・内容: インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。 対象者及び対象者数: 本学会員全員 開催数(配布数): インターネット上で随時受け付け中 効果: 事例や生殖医療における知識的な内容に関する相談が増加し、不妊看護に関わる看護者の資質の向上に貢献した	24・26	日本生殖看護学会誌の発行 目的・内容: 不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。 対象者及び対象者数: 看護専門職者で本学会員 開催(配布)予定数: 年1回、会員数分を配布予定
	24・26	研究助成 目的・内容: 不妊看護の実践に関する調査・研究を支援するために、会員を対象とし、研究費を助成し、不妊看護の発展を図る。 対象者及び対象者数: 看護専門職者で本学会員 開催数(配布数): 1件5万円を限度に2件までの助成を開始する 効果: 本年度は申請なし。	24・25・26	看護ケア提供者のための相談業務(コンサルテーション) 目的・内容: インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。 対象者及び対象者数: 本学会員全員 開催(配布)予定数: インターネット上で随時受け付け中
			24・26	研究助成 目的・内容: 不妊看護の実践に関する調査・研究を支援するために、会員を対象とし、研究費を助成し、不妊看護の発展を図る。 対象者及び対象者数: 看護専門職者で本学会員 開催(配布)予定数: 1件5万円を限度に2件までの助成を開始する

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
FOUR WINDS 乳幼児精神保健学会	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	第11回FOUR WINDS 乳幼児精神保健学会 全国大会in栃木 目的・内容:テーマ「乳幼児精神保健のさらなる発展をめざして」 講師:Frans X.Plooj氏(オランダ) 渡辺久子(会員・慶應義塾大学)他の講演を中心にした研修研究会。虐待後の精神的混乱、非行、犯罪を予防するため乳幼児期のより良い親子関係の作り方を学ぶ。アジア各国の子育て習慣を学び、日本でのより良い子育て方法を学ぶ。 対象者及び対象者数:会員および非会員延約800人 開催数(配布数):1回開催 効果:工夫すれば各職場で、誰でも、日常の親子への接し方で目的を達成できることを学んだ。	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	第9回、第10回乳幼児精神保健セミナー(事例検討会)開催 目的・内容:第9回(2008年5月25日)は、世界乳幼児精神保健学会第11回世界大会(横浜市西区パンフィコ横浜で開催)で演題発表する予定の会員の予演会とする 第10回は未定 対象者及び対象者数:会員380名 開催(配布)予定数:2回開催
	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	第10回FOUR WINDS 全国大会in 浜松 報告集の発行 目的・内容:年間1回開催される全国大会のプログラムのなかからTuula Tamminen氏(フィンランド)、渡辺久子(会員・慶應義塾大学)の講演を中心にまとめた 対象者及び対象者数:会員 開催数(配布数):380部 効果:報告集を会員に配布することにより参加できなかった会員も乳幼児精神保健に対する認識を深めることができた	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	学会誌の発行 目的・内容:会員の職種が多種にわたっているため(1)全国大会の共有 (2)多職種の交流 (3)若い世代の発掘を学会誌の目的として編集企画をたてる 対象者及び対象者数:会員380名 開催(配布)予定数:500部
	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	NEWS LETTER of FOUR WINDS (Vol.8.9.10)の発行 目的・内容:年度内に3回開催された幹事会において検討、決定された議題の内容を会員にリアルタイムで伝える 対象者及び対象者数:会員 開催数(配布数):380部×3回 計1140部 効果:幹事会での議論の内容、決定事項などを会員に伝えた。会員は地域で時代を先どった活動を行うことができた	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	NEWS LETTERの発行 目的・内容:年間2回開催される幹事会での議論、決定内容を、すみやかに全会員に広報することを目的に発行 対象者及び対象者数:会員380名 開催(配布)予定数:380部×2回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）  
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	19年度の取り組み テーマ	19年度の取り組み実績	20年度の取り組み テーマ	20年度の取り組み行動計画
	19,50,51,52,53,54,55, 56,57,58,61,66,67	第7回乳幼児精神保健セミナー(事例検討会) 目的・内容:乳幼児期の発達障害、親子関係の診断基準である「Zero to Three(DC:0-3)」について学んだ。事例を出席者全員で検討した 対象者及び対象者数:会員および非会員 参加者103名 開催数(配布数):1回開催 効果:乳幼児は単に小さな学童ではなく、親子関係によって、乳幼児の心の発達はどのようにでも変化することを学んだ。親子介入方法を学んだ。		
日本未熟児新生児学会	22,30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容:新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象者及び対象者数:全会員(約3000名) 開催数(配布数):平成19年11月24日～26日に開催	22,30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容:新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象者及び対象者数:全会員(3,000名) 開催(配布)予定数:10月30日～11月1日に開催予定
財団法人 児童育成協会	18	マタニティー・スイミング・クラスの開設 目的:妊娠中の女性の健康と快適な生活維持の支援 使用会場:こどもの城体育事業部25メートルの温水プール 料金:12,000円/月 検診:水泳の前後に産婦人科医師・助産婦による問診・血圧・脈拍・胎児心拍・体重測定 その他のケア:必要に応じ栄養相談や出産準備についてのレクチャーも実施 対象:妊娠16週以降の女性 参加者年間のべ1,318人 開催頻度:週1回(1時間)	18	マタニティー・スイミング・クラスの開設 目的:妊娠中の女性の健康と快適な生活維持の支援 使用会場:こどもの城体育事業部25メートルの温水プール 料金:12,000円/月 検診:水泳の前後に産婦人科医師・助産婦による問診・血圧・脈拍・胎児心拍・体重測定 その他のケア:必要に応じ栄養相談や出産準備についてのレクチャーも予定 対象:妊娠16週以降の女性 参加者見込み:月間平均30人、年間延べ300人 開催(配布)予定数:開催頻度:週1回(1時間)